

# 平成28年度関東高等学校男子バスケットボール大会

## 兼 第70回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会

### 派遣報告書

東京都中学校体育連盟 加藤暁生

会場	深谷ビッグタートル 本庄総合公園体育館シルクドーム	派遣期間	平成28年6月3日(金)～6月5日(日)
大会名	平成28年度関東高等学校男子バスケットボール大会 兼 第70回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会		
参加チーム	<p><b>【Aブロック】</b>              八王子学園八王子高等学校（東京）              保善高等学校（東京）              桐光学園高等学校（神奈川）              東海大学付属相模高等学校（神奈川）              船橋市立船橋高等学校（千葉）              土浦日本大学高等学校（茨城）              文星芸術大学付属高等学校（栃木）              昌平高等学校（埼玉）</p> <p><b>【Bブロック】</b>              成立学園高等学校（東京）              東洋大学京北高等学校（東京）              県立厚木東高等学校（神奈川）              県立市川高等学校（山梨）              県立幕張総合高等学校（千葉）              つくば秀英高等学校（茨城）              県立宇都宮工業高等学校（栃木）              県立川口北高等学校（埼玉）</p> <p>実践学園高等学校（東京）              國學院大学久我山高等学校（東京）              アレセイア湘南高等学校（神奈川）              日本航空高等学校（山梨）              日本体育大学柏高等学校（千葉）              前橋育英高等学校（群馬）              正智深谷高等学校（埼玉）              西武学園文理高等学校（埼玉）</p> <p>日本大学豊山高等学校（東京）              都立小平南高等学校（東京）              法政大学第二高等学校（神奈川）              八千代松陰高等学校（千葉）              柏市立柏高等学校（千葉）              県立太田東高等学校（群馬）              県立大宮東高等学校（埼玉）              小林学園本庄東高等学校（埼玉）</p>		

### スケジュール

6月3日(金)	16:30～	集合・受付	ホテル ルートイン深谷駅前
	17:30～	審判会議	埼玉グランドホテル深谷 2階プラナス
		審判ミーティング	埼玉グランドホテル深谷 2階プラナス
6月4日(土)	9:00～	第1試合開始	深谷ビッグタートル（Aブロック会場） 本庄総合公園体育館シルクドーム（Bブロック会場）
	18:30	第6試合終了	深谷ビッグタートル（Aブロック会場） 本庄総合公園体育館シルクドーム（Bブロック会場）
6月5日(日)	9:30～	Bブロック準決勝開始	深谷ビッグタートル
	16:00	Aブロック決勝終了	深谷ビッグタートル
	16:30	終会	深谷ビッグタートル

審判ミーティング 指名審判員 佐藤 誠 氏(千葉)

テーマ『3パーソン・マニュアルの2パーソン・マニュアルへの応用』

- リード・オフィシャルによるプレイの捉え方
  - ・プレイをとらえる距離・角度
  - ・3パーソンのリード・オフィシャルのように捉えると良い場合
- トレイル・オフィシャルによるプレイの捉え方
  - ・プレイを捉える距離・角度
  - ・リード・オフィシャルのポジショニングに応じたトレイル・オフィシャルのプレーの捉え方
  - ・3パーソンのトレイル・オフィシャルのように捉えると良い場合
  - ・3パーソンのセンター・オフィシャルのように捉えると良い場合
- その他

担当試合

日時・会場	対戦	相手審判
6月5日(土) 13:30～ 本庄総合公園シルクドーム Cコート 第4試合	Bブロック 1回戦 柏市立柏高等学校(千葉) 県立大宮東高等学校(埼玉)	主審: 嶋崎 貴 氏(東京) 副審: 加藤 暁生

ミーティング内容

審判主任: 廣瀬 俊昭 氏(神奈川)

1試合を通じて2人の審判でおおむね判定できていた。しかし、後半になるにつれ試合が競る中で、最後の5分間で質の良くない競り合いやファウルが起こった。その時間帯に至るまでの35分間の中で、良いプレイ/悪いプレイについて、2人の審判がより強くメッセージを発信することによって、減らすことのできたファウルもあったのではないかと。違った試合のまとめ方ができたかどうかを振り返って考えてみて欲しい。

メカニックの面では、自分のエリアを相手審判に判定されてしまうケースがあり、トレイルの動きに課題を感じる。リード・オフィシャルの動きに応じたペネトレーションの意識、その方向性には課題が感じられる。今後、意識的にそこに取り組んで欲しい。

総括

今回、初めて他の連盟の大会への派遣の機会を頂きました。各チームが、インターハイのシード権を争い、また各都県のインターハイ予選に向けて強化を図るといふ戦いに携わることができ、その空気をコート上で体感できたことは、大変意義深いものでした。

初日のレクチャーでは、千葉県の佐藤誠氏より「3パーソン・マニュアルの2パーソン・マニュアルへの応用」というテーマで講義して頂きました。佐藤氏の豊富なご経験からの知見を数多くご教示下さり、そこで展開される話題の1つ1つによって、私の理解の浅い部分を言語化して頂いた思いがあります。リード・オフィシャルの位置に応じて、「トレイル・オフィシャルが、時にはセンター・オフィシャルのような見方で、時にはトレイル・オフィシャルの見方で」判定することや、また「3パーソンのリード・オフィシャルの見方を2パーソンに応用できる例」など、様々なケースで例証して頂きました。私も僅かではありますが、3パーソンでゲームに携わった経験もあったことで、佐藤氏のお話を実体験と照らし合わせながら理解できました。

2日目(競技初日)に担当した試合では、自分の判定ができた部分もある一方で、自分のエリアを相手審判に判定されてしまうケースもありました。その状況に至るまでのプレイの捉え方、相手審判の状況、ポジショニング、戦術の理解について自分の課題を感じました。これからさらに上のレベルのゲームを運営できるよう、コート上の物事の確認、様々な気配りなど、改善に取り組みます。

今大会にあたり、開催県の北島寛臣審判長をはじめ、埼玉県の皆様には、コート内外を問わず、様々にお気遣い頂き、大変お世話になりました。感謝申し上げます。また、ご指導頂きました安西郷史関東審判長代理をはじめ、関東他県よりの審判員の皆様、派遣して頂いた東京都の久保裕紀委員長はじめ東京都の審判員の皆様がこの場を借りまして、重ねてお礼申し上げます。この経験を活かし、伝え、また今後の1試合1試合を丁寧に携わろうと努めます。有難うございました。